

これからの国宝・重要文化財（美術工芸品）等の保存と活用に関する論点整理に関する論点骨子（案）

I 基本的な考え方

- ・現状と課題
- ・今後の方向性に関する基本的考え方 等

II 今後の取組の方向性

- 1 これからの時代にふさわしい文化財（美術工芸品）の保存と活用の在り方について
 - （1）国宝・重要文化財（美術工芸品）の適切な公開の在り方について
 - （2）指定された文化財の保存と活用をより計画的に進めるための取組について
 - ①指定された文化財の保存と活用を計画的に進めるための取組について
 - ②文化財の適切な周期による修理・整備・美装化について
 - ③未指定の文化財の調査研究等について
 - （3）近代の重要文化財（美術工芸品）等の保存と活用の在り方について
- 2 文化財（美術工芸品）の持つ潜在力を一層引き出すための文化財保護の新たな展開
 - （1）文化財（美術工芸品）の保存と活用を支える美術館・博物館等の機能強化と基盤整備等について
 - ①美術館・博物館等の機能強化と基盤整備、地域振興、観光振興との連携方策等について
 - ②これからの文化財公開・活用に係るセンター機能について
 - （2）先端技術と連携した文化財（美術工芸品）の新たな公開・活用方策について
 - ・模写模造、高精細レプリカ、VR等の意義、活用の在り方等
- 3 文化財（美術工芸品）を適切に保存管理しながら活用を図る専門的人材の育成・確保、及び環境整備の在り方について
 - （1）学芸員、修理技術者等の専門性向上を含めた保存と活用を促進するための人材育成・確保について
 - （2）文化財（美術工芸品）を確実に継承するための環境整備